



# ときめき暮らし。

My Life  
My Style

人口減少。それは、全国の多くの自治体が抱える大きな問題です。本市では人口減少対策の柱として、シティプロモーションや移住・定住支援策を実施。今回は、それらの取り組みを通して、改めて登米市の魅力を知り、移住者や定住者を増やすために必要なまちづくりについて考えます。

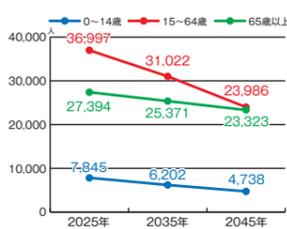
## 持続可能なまちづくりを

現在、多くの自治体が人口減少と少子高齢化の問題を抱え、本市においても例外ではありません。2005年の国勢調査の結果では、本市の人口は約8万9千人で、15年は約8万2千人。10年間で約7千人減少しています。さらに、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月推計)」によると、2045年には約5万2千人まで減少すると予測されています。

そんな中、15年の国勢調査の結果では、都市部から過疎地域への移住者のうち、約45%が20から30歳代。自分のライフスタイルに合った場所で生活がしたい「自然環境が豊かな場所で子育てがしたい」と農村地域への移住に対する関心が、若年層を中心に高まっています。

そこで、市は人口減少対策に力を入れるため、16年4月に移住・定住促進係を新設しました。シティプロモーションで市の魅力を伝えるとともに、移住・定住支援策を展開。将来にわたり活力のあるまちを持続していくため、さまざまな取り組みを進めています。

年齢区分別人口推移予測



国立社会保障・人口問題研究所  
「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月推計)」

人口推移予測

